



2月 すこやか

令和4年2月1日
文責：青砥 眞由美

2月になると暦の上で立春を迎え、大寒が明けて厳しい寒さが徐々に和らぐ季節になると言われていますが、まだまだ厳しい寒さが続くことが予想されます。

この時期は、気温が下がり体温が低くなると免疫が低下し、感染症にかかりやすくなります。ひき続き普段の生活の中で、室内の換気や加湿、手洗いうがいなどの感染症予防を心掛けて生活していきましょう。



◆◆◆◆◆支援センターの図書コーナーにある本の1ページを紹介させていただきます◆◆◆◆◆

「育てにくい子」と感じた時に読む本 佐々木 正美 著

楽しい遊びをするには、「ルールを守る」必要があります。複数で遊ぶとき、そこには必ずルールが生まれます。(中略)このような遊びの中で、子どもたちは道徳性と倫理観を学びます。いえ、子どもたちは「遊びの中でしか」道徳性や倫理観を学ぶことはできないと言っても過言ではありません。(中略)昔、子どもはほうっておけば遊びました。だから大人は「遊びが重要だ」なんていう必要はなかった。(中略)でも今の子どもたちは、ほうっておいてはもう遊べませんよ。それがいかに危機的なことなのか、すべての大人に分かってもらいたいと思います。

療育では大人や友達と楽しい遊びを共有することで、人に向き合う力や道徳性を身に付け、コミュニケーション能力の基礎作りをしています。



《 保護者の事業所評価アンケートにつきまして 》

鹿追町児童デイサービスにおける『事業所評価アンケート』を実施致しました。3月1日から鹿追町のホームページに公表し、ご家庭にも配布させていただきます。ご協力ありがとうございました。



※大雪が降った時に、発達支援センターの北側と南側駐車場の除雪がされていないことが予想されます。その場合は東町歯科医院の東側駐車場か図書館の東側駐車場をご利用下さい。